

### (1) スポーツ中の事故

サッカーやテニス・野球などのボールゲームは、実際にプレイをしている人もそれを見学している人も、とても楽しいスポーツです。



ただし、ボールゲームの宿命として、怪我やボールが眼に当たるといった事故がつきものです。競技中の眼への身体衝突やボールによる眼の打撲は、その打撃力が相当に強い場合、深刻な視力障害が生じることがあります。

場合によっては何らかの後遺症が残ったり、その後失明に至る事例もありますから、相応の注意が必要です。

### (2) 眼を打撲した時は…

一般論として言えば、まず慌てずに、安静にしてください。

自己判断で「大丈夫」と思ってプレーを続行したりせずに、ただちに眼科を受診して下さい。

また「様子を見て夕刻に…」などと考えず、出来る限り早い時間に受診して下さい。

理由は、万が一症状が重く、救急病院や大学病院の紹介を受けたときに受け入れ側の病院の「通常診療」が終了している時間帯では、受け入れ体制が十分ではないからです。

### (3) 当院の取り組み

当院は設備などの関係で救急診療や重篤な症状の処置はお受けできません。

来院前に下記の電話問合せ先も利用頂けますようお願いいたします。

- ・救急 119
- ・判断が困難なとき ◆消防庁救急相談センター #7119
- ◆東京都保健医療情報センター(ひまわり) 03-5372-0303